

三松小で父親と児童が餅つき



12月23日、三松小で餅つき大会が行われました。児童の父親で構成する「おやじ学級おしかわともお（押川朋夫学級長）」が主催。児童は父親と楽しく餅つきを行い、つきたての餅をおいしそうにほお張っていました。

どんど焼きで無病息災を祈る



1月12日、どんど焼きが細野の牧場にある演芸場で行われました。組まれた竹に点火すると、大きく爆ぜる音とともに巨大な火柱が出現。参加者は竹の先に刺した餅をその炎で焼いて食べ、今年の無病息災を祈りました。

ランキュラスの魅力を楽しんで



1月18日、J Aこばやしランキュラス研究会のメンバー5人が市長に花束を贈呈しました。高津佐雄三会長は「ランキュラスは品種こうつきゆうぞうが多くさまざまな色や形があるのが魅力。ぜひ多くの人に楽しんでほしい」と話していました。

ライオンズクラブほうき 400 本寄贈



小林ライオンズクラブが、市内小中学校に竹ほうき 400 本を寄贈しました。12月19日に小林中で行われた贈呈式で同クラブの徳永裕司とくながゆうじさんは「学校をきれいにして、学業も頑張ってもらいたい」とあいさつしました。

三松小ハンドが九州大会出場を報告



12月19日、三松小ハンドボールスポーツ少年団の選手ら27人が市長を表敬訪問し、第33回九州小学生親善ハンドボール大会出場を報告ききりくらしゅうしました。木切倉志佑キャプテンは「宮崎県代表として頑張ります」と意気込みを語りました。

元気クラブでそばうちや餅つき



12月23日、小林元気クラブの元気まつりが西小林地区体育館で行われました。小学生から高齢者まで約100人が参加。そばうち体験や、杵と臼を使った昔ながらの餅つきを行い、地域の交流を深めました。

こばやしスクールサポートボランティアセンター
K S S V C が
文部科学大臣表彰を受賞

優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を、こばやしスクールサポートボランティアセンターが受賞しました。同センターは、学校と地域住民の連携による、地域の特性に応じた学校支援活動の充実を図っており、今回の表彰では、このことが評価されました。



表彰式に参加した同センターの川添統一かわぞえいつしさんは「学校支援活動を通じて学校と地域の強い絆づくりを目指したい」と話していました

寒さに負けず元気いっぱい
スポーツ少年団の集い

1月20日、小林市スポーツ少年団の集いが総合運動公園で行われました。市内各地のスポーツ少年団から5種目に21チーム、357人が参加。トラックロードレースの部と駅伝競争の部が行われ、冷たい風が吹く中でも、子どもたちは、日ごろ鍛えた体力と健脚を元気に競いました。



駅伝競争の部では、男女とも小林ジュニアアスリートクラブAが優勝しました



和田青児さんが歌う「2億4千万の瞳」には秀峰高校の男子新体操部も参加。録画された回は、1月20日、26日に放送されました

文化会館開館 20 周年を記念
BS日本のうた公開録画を開催

12月13日、文化会館でNHKBSプレミアム「BS日本のうた」の公開録画が行われました。観覧希望の応募があった中から、当選者が番組の録画を観覧。千昌夫せんまさおさんや神野美伽かみのみかさん、原田悠里はらだゆりさんらゲスト歌手が共演し、「星影のワルツ」や民謡「いもがらぼくと」など時代を超えて愛されている日本の名曲の数々を歌い上げました。



協定を結んだ関係者ら。式で、県企業立地推進局福田裕幸局長は「小林が国内での新たな拠点。心から感謝したい」とあいさつしました

縫製業者の有限会社南海服装と
企業立地協定を締結

12月20日、縫製業者の有限会社南海服装と市の間で、立地協定が交わされました。南海服装は、国内での生産体制の強化を目的に、小林工場を新設。平成27年7月までに新規雇用23人を見込んでいます。花本大介社長は「快適に作業できる環境を整備し、高い技術を持った人材を小林で育成していきたい」と話しました。